

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 政策立案と統計	講義科目	人口統計と少子化対策	講義時間	3コマ
講師	鎌田 健司 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部室長				

※1コマ70分

講義のねらい

本講義では人口統計及び人口学的視点からみた少子化の捉え方について学び、少子化対策の現状と課題について国および都道府県の事例をもとに概観したい。

第一に人口減少に至る人口学的説明を概観した後、少子化を測定する代表指標である合計（特殊）出生率の概念と計算方法、地域の視点からみた出生率について解説する。

第二に少子化対策に関する先行研究をもとにした対策案や少子化の要因分析に関する取り組み事例について紹介する。

第三に社人研の地域別将来人口推計の推計方法の考え方について解説するとともに、小地域統計を用いた将来人口推計の事例やGISの利用など地域の課題解決方法について紹介する。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1) 人口統計と少子化 ・人口変動と人口減少 ・少子化と合計（特殊）出生率 ・地域からみた出生率	長期的な人口の推移・構造変化、人口変動要因について人口学的視点から概説 少子化の代表指標である合計（特殊）出生率について、その考え方と測定方法等について説明 地域別にみた出生率の性質や解釈上の注意点について説明
2) 人口統計と政策立案 ・少子化に係る先行研究 ・少子化の要因分析事例	少子化対策に関する先行研究をもとにした対策案とその評価方法、生態学的誤謬の可能性等について説明 少子化の要因分析事例の紹介：地方創生と都道府県の事例
3) 地域別将来人口推計と小地域統計を用いた課題解決	社人研の地域別将来人口推計の結果や推計方法の考え方、小地域別将来人口推計やGISの利用など課題解決事例について紹介

講義形態 指導方法	スライド（PowerPoint 又は PDF）を用いた講義方式による。
受講に必要な 基礎知識等	特になし。